

昭和57年度沖縄周辺重要水産資源調査

喜屋武 俊彦

1. 目的

沖縄周辺海域で、網漁業、一本釣漁業の対象となる主要魚種について、資源調査を恒久的に実施し、それぞれの資源の生態、資源の変動法則を明らかにして、沿岸、近海漁業の管理および合理的生産体系の確立をはかる。

2. 調査の概要

(1) 個体生態調査

漁獲物を通じて成長と年令・成熟・産卵・系統群・回遊等について知見を得る。

- ① 体長測定調査
- ② 体長・体重調査
- ③ 胃内容物・生殖腺調査

(2) 漁獲量調査

- ① 水揚地調査
- ② 標本船調査

3. 調査の実施状況

(1) 実施機関 沖縄県水産試験場 漁業室

担当者 喜屋武俊彦

(2) 調査対象魚種・調査項目

- ① カツオ
水揚地調査、標本船調査
- ② タカサゴ類
体長・体重測定調査、胃内容物・生殖腺調査、水揚地調査
- ③ アイゴ
体長・体重測定調査、胃内容物・生殖腺調査、水揚地調査

(3) 鮮魚取扱い市場水揚量調査

主要漁協市場水揚量調査・主要魚種水揚量調査（市場：沖縄県漁連、那覇地区漁協、糸満漁協、魚種：ハマダイ、ハマフエブキ、スジアラ、アオリイカ）

4. 調査結果

(1) カツオ竿釣

① 漁獲量調査結果

昭和57年の本部の漁獲量は300,548kgで前年比75.5%であった。隻数は前年同様3隻であった。漁期は5月から9月で前年より1ヶ月短かった。盛漁期は前年同様5月であった。漁獲量の経年変化は横ばい状態で推移したが、1隻当り漁獲量は若干増加傾向で推移した。

表-1 近海カツオ一本釣漁業月別漁獲量

(単位: kg)

地	域	年		4月	5	6	7	8	9	合計	隻数
		月	年								
沖	本	部	56	39,921.5	144,557	64,642	92,694	34,604	21,547	397,965.5	3
			57	—	142,319	37,752	34,927	54,197	31,353	300,548	3
細	本	島	56	資料欠							1
			57	—							1
宮	小	計	56	39,921.5	144,557	64,642	92,694	34,604	21,547	397,965.5	4
			57	—	142,319	37,752	34,927	54,197	31,353	300,548	4
古	平	良	56	—	1,647	8,690	31,480	45,291	24,612	111,720	5
			57	—	27,844	66,908	66,921	62,216	61,215	285,104	6
八	重	山	56	—	9,641	137,524	242,688.5	189,200	—	579,053.5	10
			57	—	8,624	124,473	307,319	194,105	103,699	738,220	13
合	小	計	56	—	11,288	146,214	274,168.5	234,491	24,612	690,773.5	15
			57	—	36,468	191,381	374,240	256,321	164,914	1,023,324	19
合	石	垣	56	—	50,851	53,410	253,347	296,108	54,089.5	707,805.5	11
			57	—	—	64,403	385,140	293,570	135,422	878,535	11
合	計	計	56	39,921.5	206,696	264,266	620,209.5	565,203	10,024.85	1,796,544.5	29
			57	—	178,787	293,536	794,307	604,088	331,689	2,202,407	33

表-2 南方カツオ一本釣漁業月別漁獲量

(単位: トン)

会社名	基地名	年		4月	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	隻数	
		月	年												
大	洋	漁	56	—	1,838.5	1,284.6	1,429.6	1,377.7	1,103.6	1,339.0	1,249.5	1,323.8	14,097.9	14	
			57	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10,946.3	14
海	外	漁	56	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	271.61	6
			57	—	3,153	3,589	4,112	171.0	95.9	42.9	—	—	—	1,395.2	3
ス	タ	ー	56	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7,352.5	8
			57	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
キ	ス	ト	56	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			57	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合	計	計	56	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			57	—	3,153	2,197.4	1,695.8	1,600.6	1,473.6	1,146.5	1,339.0	1,249.5	1,323.8	35,287.9	49
合	計	計	56	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			57	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

平良の漁獲量は 285,104 kg で前年比 255.2% と大巾に増加した。隻数は前年より 1 隻増加
 となり、1 隻当り漁獲量は 47,517 kg で前年比 212.7% と漁獲量同様大巾に増加した。漁期は 5
 月 1 日から 9 月、6 月から 9 月まで好漁が続いた。伊良部の漁獲量は 738,220 kg で前年比 127.5
 % と増加した。隻数は前年より 3 隻増加し 13 隻であった。1 隻当り漁獲量は 56,786 kg で前
 年比 97.9% と前年並であった。漁期は 5 月から 9 月、盛漁期は前年同様 7 月であった。宮古
 島の地区のカツオ一本釣漁業の漁獲量は 1,023,324 kg。経年変化では昭和 49 年以降最高の漁獲量
 であった。1 隻当り漁獲量は横ばい状態で推移した。

石垣の漁獲量は 878,535 kg で前年比 124.1% と増加した。隻数は前年同様 11 隻、1 隻当り
 漁獲量は漁獲量同様増加した。漁期は前年より 1 ケ月短かく 6 月から 9 月、盛漁期は前年よ
 り 1 ケ月早く 7 月であった。3 地区の漁獲量は 2,202,407 kg で前年比 122.6% と増加し、隻
 数は 4 隻増加した。1 隻当り漁獲量は前年並か若干増加した。(表一)

南方基地のカツオ一本釣漁業の漁獲量は 12,341.5 トンで前年比 35.0% と大巾に減少した。
 1 隻当り漁獲量は 726.0 トンで前年並であった。基地別にみると、ソロモンの漁獲量は 10,946.3
 トンで前年比 77.6% と減少した。隻数は前年同様 14 隻であった。パラオの漁獲量は 1,395.2
 トンで前年比 51.4% と大巾に減少した。隻数は前年の半分で 3 隻、1 隻当り漁獲量は 465 ト
 ンで前年より若干増加した。ラバウルとキャピアンは基地の会社の閉鎖がみられ、今年度は
 操業がなかった。

② 標本船調査

沖縄北西海域で操業するカツオ一本釣船 (49 トン、本部漁協所属) を標本船に指定し、漁
 況報告を受けた。

昭和 57 年の標本船は 5 月から 9 月まで出漁し、漁獲量は 91,853 kg で前年比 79.5% と減少し
 た。出漁日数は 75 日で前年より 8 日少なかった。1 日当り漁獲量は 1,224.7 kg で前年比 87.9
 % と減少した。魚体は 5 月にはピリガツオ、6 月も同じくピリガツオ、7 月には大判がわず
 かに漁獲されたがピリガツオ主体であった。8 月は大判主体、9 月は中判であった。総漁獲
 量に占める各銘柄の組成をみると、トビ大 0.5%、大判 11.1%、中判 11.6%、小判 0.4%、
 ピリガツオ 76.4% で前年の銘柄組成と大きく違った。

表一 標本船漁獲量

月	総漁獲量	トビ大	大判	中判	小判	ピリ	マグロ	操業日数	1日当り 漁獲量
5	48,048					48,048		19	2,528.8
6	10,828					10,828		13	832.9
7	11,581		380			11,201		15	772.1
8	10,796	515	9,858	22	401			15	719.7
9	10,600			10,600				13	815.4
合計	91,853	515	10,238	10,622	401	70,077		75	1,224.7